

春日部 2 世、3 世その先へと住みつなぐまち

埼玉県春日部市（2020年度選定）

1. 地域の特徴と課題及び目標	埼玉県の東部に位置する人口約23万人、面積66.00km ² の都市。世界的に人気のある「クレヨンしんちゃん」の舞台となっている庶民的なまち。かつて「東洋一」と呼ばれた巨大な郊外住宅団地が建設され人口急増が始まったが、現在は、少子高齢化と人口減少が進み、課題となっている。課題解決に向け、高齢者が健康で安心して住み続けられ、若い世代が「住み続けたい！」と思い、就職や結婚で市外に出た人も、「再び春日部で暮らしたい」と思える、コンパクトで質の高いまちを形成し、住みつがれていく「世代が循環する」まちの実現を目指す。	2. 関連するゴール 
3. 取組の概要 (三側面をつなぐ統合的取組概要を含む)	<ul style="list-style-type: none">■ 三世代近居と官学連携による世代間交流促進■ 再生可能エネルギーの導入促進、エネルギー利用の高効率化、省エネルギー等の取組による地球温暖化対策の推進■ コンパクトシティの実現と中心市街地の活性化	
4. 自治体SDGs推進等に向けた取組 <ul style="list-style-type: none">■ かすかべ魅力発信誘客推進事業として、「首都圏外郭放水路」への来訪者が市内に点在するその他の観光資源を回遊するよう、春日部の歴史観光資源である日光街道「粕壁宿」を中心に春日部の魅力を発信した。■ 「少子高齢化及び施設・街の老朽化のイメージの払しょく」や「近年頻発・激甚化する大規模災害への対応」など、地域課題の解決と脱炭素の同時実現のためのロードマップを、民間事業者とともに作成した。■ 鉄道駅を中心としたコンパクトシティ（コンパクトで低炭素な都市）の形成に資する公共交通の実現や、他の公共交通との連携強化により、「あらゆる世代にとって便利で、持続可能な公共交通ネットワークの実現」を目指す。	6. 取組成果 <ul style="list-style-type: none">■ かすかべ魅力発信誘客推進事業の取組成果<ul style="list-style-type: none">・日光街道粕壁宿の観光ガイド（6回）・モニターツアー（2回）・日光道中粕壁宿スタンプラリー（実施期間：9月～12月）・春日部桐筆筒&押絵羽子板PRイベント（1回）■ 環境省「令和6年度地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（重点対策加速化事業）」に応募した。この事業計画ではこれまでの取り組みを刷新し、令和6～10年度の5カ年で公共施設におけるPPAや、民生部門の脱炭素施設導入支援などを打ち出した。■ 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況の指標である「バスによるアクセスが可能な鉄道駅数」について、駅数が5駅であり、鉄道駅を中心とした公共交通網の形成が進んでいる。2024年1月から第四次春バス運行を開始し、コンパクトシティの形成に資する公共交通の実現を進めている。	
5. 取組推進の工夫 <p>市長を本部長とし、医療職を除く全部長によって構成される「春日部市SDGs本部会議」において、自治体SDGsの推進に係る合意形成を行っている。部局横断的な課題については、作業部会を設置し連携して推進・検討を行っている。また、地域課題解決に向けて企業や教育機関等が取り組む「かすかべSDGsパートナーズ」とも市職員がワークショップに参加するなど連携して取り組んでいる。</p>	7. 今後の展開策 <ul style="list-style-type: none">■ 「首都圏外郭放水路」が「インフラツーリズム魅力倍増プロジェクト」の新たなモデル地区に選定されたことにより、地域周遊およびインバウンド対応を含めたインフラツーリズムの更なる発展を検討していく。■ 市民・事業者への太陽光発電設備・蓄電設備の導入に対する補助、営農型太陽光発電事業への補助、市公共施設への自家消費型太陽光発電設備・蓄電設備の導入、EV公用車導入・公共施設への充電設備導入。	
8. 他地域への展開状況 （普及効果）	<ul style="list-style-type: none">■ SDGs未来都市として、市外大学経済学部の学生に対する講義（講義回数：1回）■ 「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」事業計画選定市として、他自治体からの視察受け入れ・講演（約10回）	

SDGs未来都市等進捗評価結果報告シート

2020年度選定

埼玉県春日部市

2024年9月

SDGs未来都市計画名

自治体SDGsモデル事業
又は特に注力する先導的取組

春日部市 SDGs未来都市計画
春日部2世、3世その先へと住みつなぐまち～未来へ発信する世代循環プロジェクト～

-

埼玉県春日部市 第1期SDGs未来都市計画：計画期間2020年～2022年

(1) 2030年のあるべき姿の実現に向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2022年	2030年（目標値）	達成度 （%）	第2期計画（または独自計画）の KPIへの反映状況
1	バスによるアクセスが可能な鉄道駅数【11.2】	2017年度 4/8 駅	2022年度 5/8 駅	2030年度 6/8 駅	50.0%	2030年の目標へ向けて順調に進捗しており引き続き第2期計画で進捗を確認していく。
2	春日部駅周辺は、快適で便利だと思う市民の割合【9.1,11.2】	2018年度 43 %	2022年度 38 %	2030年度 67 %	-20.8%	2030年の目標へ向けて引き続き第2期計画で進捗を確認していく。
3	企業誘致奨励事業を活用して立地した企業の件数【8.3】	2019年度 9 件	2022年度 13 件	2030年度 19 件	40.0%	2030年の目標へ向けて順調に進捗しており引き続き第2期計画で進捗を確認していく。
4	食品・飲料や日用・家庭雑貨を主に市内で購入する市民の割合【8.3,8.9】	2018年度 93.4 %	2022年度 データなし	2030年度 95.0 %	-	指標に関する調査が廃止となったため、第2期計画ではKPIを廃止とした。
5	観光入込客数【8.9,11.7】	2018年度 1,726,984 人	2022年度 650,494 人	2030年度 2,278,000 人	-195.4%	2030年の目標へ向けて引き続き第2期計画で進捗を確認していく。
6	保育所待機児童数【4.2】	2018年度 (4月1日現在) 33 人	2022年度 21 人	2030年度 0 人	36.4%	2030年の目標へ向けて順調に進捗しており引き続き第2期計画で進捗を確認していく。
7	高齢者安心見守り事業利用者数【2.1,2.2,3.4,17.17】	2018年度 54 人	2022年度 58 人	2030年度 110 人	7.1%	2030年の目標へ向けて引き続き第2期計画で進捗を確認していく。
8	自治会加入世帯数【11.3,17.17】	2018年度 64,846 世帯	2022年度 62,331 世帯	2030年度 67,500 世帯	-94.8%	効果を測る指標としては、不十分であるため、第2期計画ではKPIを廃止としたが、自治会加入促進活動を継続して実施し広く住民に自治会加入意識の高揚を図っていく。
9	年に1回以上防災訓練を実施している自主防災組織の割合【4.7,11.5】	2019年度 98.5 %	2022年度 98.9 %	2030年度 100 %	26.7%	2030年の目標へ向けて順調に進捗しており引き続き第2期計画で進捗を確認していく。
10	安心安全メールの登録者数【11.5】	2019年度 16,405 人	2022年度 16,482 人	2030年度 23,000 人	1.2%	効果を測る指標としては、不十分であるため、第2期計画ではKPIを廃止とした。
11	春日部市に住み続けたいと思う市民の割合【11.1,11.7】	2016年度 81 %	2022年度 82.2 %	2030年度 85 %	30.0%	2030年の目標へ向けて順調に進捗しており引き続き第2期計画で進捗を確認していく。
12	かすかべ環境ネットワーク会員数【12.8,17.17】	2019年度 88 者	2022年度 87 者	2030年度 145 者	-1.8%	第2期計画ではKPIを「家庭ゴミ1人1日あたり排出量」に見直し更なる推進を図る予定。会員については、イベント等を開催することで、会員数の増加に努めていく。
13	住宅用太陽光発電設備導入件数（累計）【7.2,7.3,11.6,13.3】	2019年度 4,249 件	2022年度 5,156 件	2030年度 6,600 件	38.6%	2030年の目標へ向けて順調に進捗しており引き続き第2期計画で進捗を確認していく。
14	市域の温室効果ガス排出量【7.2,7.3,11.6,13.3】	2016年度 966 千t-CO ₂	2021年度 883.5 千t-CO ₂	2030年度 743 千t-CO ₂	37.0%	2030年の目標へ向けて順調に進捗しており引き続き第2期計画で進捗を確認していく。

埼玉県春日部市 第1期SDGs未来都市計画：計画期間2020年～2022年

(2) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2022年実績	2022年目標値	達成度(%)	第2期計画（または独自計画）のKPIへの反映状況
1	人が行き交うにぎわいの創出	鉄道・バスの1日平均乗降客数	2017年度 172,000 人	2022年度 146,000 人	2022年度 (現状維持) 172,000 人	84.9%	順調に進捗しており引き続き第2期計画で進捗を確認していく。
2	人が行き交うにぎわいの創出	市の特定創業支援等事業「創業塾」を受けて起業した件数	2018年度 15 件	2022年度 25 件	2022年度 18 件	333.3%	順調に進捗しており引き続き第2期計画で進捗を確認していく。
3	人が行き交うにぎわいの創出	自治会加入世帯数	2018年度 64,846 世帯	2022年度 62,331 世帯	2022年度 67,300 世帯	-102.5%	経済面の指標を設定するため、第2期計画ではKPIを「有効求人倍率」に見直し更なる推進を図る予定。自治会加入促進活動を継続して実施し広く住民に自治会加入意識の高揚を図っていく。
4	すべての世代にとっての快適な暮らし	小児救急夜間診療所において「とても良い」と評価する利用者の割合	2019年度 73.6 %	2022年度 74.7 %	2022年度 76.1 %	44.0%	順調に進捗しており引き続き第2期計画で進捗を確認していく。
5	すべての世代にとっての快適な暮らし	「伝えあい学び合い」に取り組む授業の普及割合 小学校・義務教育学校（前期課程）	2017年度 74.1 %	2022年度 81.5 %	2022年度 80.0 %	125.4%	順調に進捗しており引き続き第2期計画で進捗を確認していく。
6	すべての世代にとっての快適な暮らし	「伝えあい学び合い」に取り組む授業の普及割合 中学校・義務教育学校（後期課程）	2017年度 66.7 %	2022年度 74.5 %	2022年度 75.0 %	94.0%	順調に進捗しており引き続き第2期計画で進捗を確認していく。
7	すべての世代にとっての快適な暮らし	高齢者向け元気アップ教室の参加者数	2018年度 606 人	2022年度 225 人	2022年度 630 人	-1587.5%	健康づくりや病気の予防に対する効果を測るより良い指標設定にするため、第2期計画ではKPIを「65歳健康寿命」に見直し更なる推進を図る予定。高齢者向け元気アップ教室の参加者数については、より参加しやすい環境づくりを行うと同時に、普及啓発を積極的に行いながら開催していく。
8	すべての世代にとっての快適な暮らし	65歳以上で週に1日以上収入のある仕事をしている人の割合の上昇（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査より）	2019年度 20.4 %	2022年度 21.9 %	2022年度 22.0 %	93.7%	順調に進捗しており引き続き第2期計画で進捗を確認していく。
9	すべての世代にとっての快適な暮らし	地域貢献活動を行った学生の延べ人数	2018年度 192 人	2022年度 24 人	2022年度 300 人	-155.6%	効果を測る指標としては、不十分であるため、第2期計画ではKPIを「日頃から環境問題について、意識して行動している人の割合」に見直し更なる推進を図る予定。
10	すべての世代にとっての快適な暮らし	三世代近居をはじめた世帯／年度	2018年度 142 世帯	2022年度 146 世帯	2022年度 200 世帯	6.9%	引き続き第2期計画で進捗を確認していく。
11	環境に配慮し自然と共生する暮らし	環境美化活動の参加人数	2018年度 49,538 人	2022年度 26,274 人	2022年度 50,100 人	-4139.5%	参加者の行動変容にどのように繋がったかを測る指標にするため、第2期計画ではKPIを「日頃から環境問題について、意識して行動している人の割合」に見直し更なる推進を図る予定。
12	環境に配慮し自然と共生する暮らし	公共施設の再生可能エネルギー導入容量	2018年度 3,363 kW	2022年度 3,365 kW	2022年度 3,500 kW	1.5%	引き続き第2期計画で進捗を確認していく。
13	環境に配慮し自然と共生する暮らし	管理不全空き家等の改善数	2018年度 1,108 件	2022年度 1,082 件	2022年度 997 件	23.4%	事業効果がより分かりやすい指標へ変更するため、第2期計画ではKPIを「空き家リノベーションに関する申請件数」に見直し更なる推進を図る予定。

埼玉県春日部市 第1期SDGs未来都市計画：計画期間2020年～2022年

(5) 第1期SDGs未来都市計画の進捗評価結果を踏まえた総括

●特筆すべき事業内容

- (1) No.2「春日部駅周辺は、快適で便利だと思える市民の割合」に関する事業については、用地の取得や東口仮駅舎への切り替えなど目に見える形で事業の推進が図られているが、中心市街地の分断の解消などの成果を実感できる状況に至っていないことから、達成状況は減少傾向となっている。しかし、事業は着実に前進しているため、引き続き関係機関と連携を図りながら、春日部駅付近連続立体交差事業と一体となったまちづくりに取り組み、中心市街地が抱える問題の解決を図っていく。
- (1) No.5「観光入込客数」に関する事業については、新型コロナウイルス感染症の影響による移動自粛や市内イベントの中止・規模縮小等により、目標値を大幅に下回っている。このような状況において、今後の誘客に繋げるためのモニターツアーの実施や観光資源の磨き上げ、市内外での観光PR等、市内観光の早期回復に向けた取組を進めていく。
- (1) No.8、(2) No.3「自治会加入世帯数」に関する事業については、自治会活動の活性化や自治会連合会自らによる自治会加入のメリットの創出、地域の事業者と普段からの顔の見える関係づくりを通じて地域経済も含めた地域コミュニティ全体の活性化を目的とし、自治会カードを開始した。自治会加入促進事業は計画通りできたが、自治会加入率の微減傾向は続いているため、自治会加入率の低下に歯止めをかけるため、自治会連合会では加入者減少の問題解消に向けた取組みとして11月を「自治会加入促進月間」とし、一定の期間内に集中して自治会加入促進活動を継続して実施し広く住民に自治会加入意識の高揚を図っていく。
- (1) No.12「かさかべ環境ネットワーク会員数」に関する事業については、例年、環境啓発活動（イベント）の際に募集を実施していたが、コロナ禍によるイベント中止等により、募集活動を行うことができなかった。今後は、新型コロナウイルスの影響を考慮しつつイベント等を開催することで、会員数の増加に努めていく。
- (2) No.7「高齢者向け元気アップ教室の参加者数」に関する事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止及び熱中症対策のため、計6回が中止となり、前年度より参加人数が減少している。今後は、他事業との日程調整を行い、より参加しやすい環境づくりを行うと同時に、普及啓発を積極的に行いながら開催していく。
- (2) No.9「地域貢献活動を行った学生の延べ人数」に関する事業については、武里団地に居住する学生数の減少に伴い、活動数も減少。今後は、団地に居住していない学生とも連携をとり、活動数を増加させていく。
- (2) No.11「環境美化活動の参加人数」に関する事業については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、市内一斉清掃（クリーンデー）が中止になったが、自治会などの団体が感染防止策を講じながら、地域清掃などの環境美化活動を実施したことで、環境美化活動の実施回数は増加した。自主的な活動を継続的に支援することにより、さらなる環境美化の促進を図る。

●成果

埼玉県春日部市 第1期SDGs未来都市計画（計画期間2020年～2022年）の指標の達成状況について

- (1) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組で、設定した指標の14項目中6項目の達成度は、2030年までの達成期限に向けて順調に進捗した。
- (2) 自治体SDGsの推進に資する取組で設定した指標の13項目中2項目は、目標値を達成することができた。

●課題

埼玉県春日部市 第1期SDGs未来都市計画（計画期間2020年～2022年）の指標の達成状況については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、

- (1) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組で設定した指標の14項目中4項目及び
- (2) 自治体SDGsの推進に資する取組で設定した指標の13項目中4項目の達成度がマイナスになってしまった。

●今後の展望

埼玉県春日部市第1期SDGs未来都市計画（計画期間2020年～2022年）の進捗評価結果で出た成果や課題を踏まえ、埼玉県春日部市第2期SDGs未来都市計画（2023～2025）にある

2030年のあるべき姿を実現するため、相乗効果や波及効果のある事業を横断的に展開し、重点的かつ優先的に取り組み、「住んでみたい、住み続けたい」と思われる、誰からも選ばれるまちを目指す。

(6) 有識者からの取組に対する評価

・だれもが「住んでみたい、住み続けたい」と思えるまちにするために、積極的に経済、社会、環境の事業を推進する必要がある。特に、子育て支援、賑わい形成での積極的な事業展開を期待したい。